

南西諸島における「島嶼研究活動」のモデル化と今後の島嶼研究に関する研究

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

野田伸一

本研究では南西諸島を対象に、各島の現在までの研究蓄積がどうなっているか、またその結果に島ごとに違いがあるかをデータベースにおいて調べ、その違いがどのような要因に起因しているかを検討し、統計解析によって「島嶼研究活動」モデルの構築を行うことを目的にしている。

南西諸島のモデル島（屋久島、奄美大島、徳之島、沖縄本島、西表島）を対象に各検討対象領域（医療、社会・文化、陸上動物、植物、海洋生物、漁業、農業）のキーワード（英語と日本語）それぞれ30個を用いて典型的なデータベースとして九州大学リポジトリで文献検索を行った。各領域で特に重要と考えられたキーワード10個の日本語での検索結果を示したのが下表である。

英語での検索結果と日本語での検索結果は全く異なった。また、検索でヒットした資料に直接関係がないのではないかとと思われる資料が含まれる可能性もあり、今後の検索では詳細な検索結果の検討の必要性が考えられる。

表. 九州大学リポジトリを対象にした研究領域ごとの代表的なキーワードを用いて得られた文献数

陸上動物・医療										
	高齢化	生活習慣病	出生率	医療	病院	生物多様性	絶滅危惧種	生物保護	陸上動物	鼠
屋久島	24	15	12	2	3	28	23	18	8	3
奄美大島	332	201	150	48	43	346	225	104	70	40
徳之島	7	4	1	1	2	7	4	3	1	0
沖縄本島	418	263	233	64	56	440	253	166	75	54
西表島	5	3	3	1	0	6	3	4	2	0
社会・文化										
	シマ	振興	インフラ	基地	戦争	平和	発展	開発	過疎	子宝
屋久島	5	5	0	1	4	2	6	11	1	0
奄美大島	26	54	6	12	46	21	88	125	9	0
徳之島	0	2	0	1	1	0	3	3	1	0
沖縄本島	28	83	16	54	97	61	167	190	22	0
西表島	4	2	1	1	1	0	5	5	2	0
海洋生物・漁業										
	生物多様性	世界遺産	保全	養殖	絶滅危惧種	黒潮	汚染	環境問題	乱獲	刺し網
屋久島	28	13	10	0	23	1	2	28	0	3
奄美大島	346	133	17	2	225	4	9	275	1	71
徳之島	7	5	1	0	4	0	0	7	0	1
沖縄本島	440	216	44	5	253	11	29	372	2	84
西表島	6	5	2	0	3	0	1	7	0	0
植物・農業										
	農業	植物	農学	森林	農業経済	農業工学	作物	雑草	土壌	食品
屋久島	7	13	6	16	15	9	4	2	12	1
奄美大島	57	53	44	20	139	96	25	9	27	19
徳之島	1	1	1	1	4	1	0	0	0	1
沖縄本島	507	484	334	210	1523	872	223	61	251	147
西表島	3	2	2	1	3	5	1	0	2	0